

保坂世田谷区長 幼児グループ にじのこ見学



九月二十四日(木)、保坂世田谷区長はじめ、小堀障害福祉担当部長、地域生活課の羯磨地域生活担当係長が、幼児グループにじのこに來所されました。

保坂区長には、世田谷区空き家活用プロジェクトの助成により整備した庭で、子ども達が砂遊びをする姿をご覧いただきました。

児童発達支援事業の運営状況や利用状況、子ども達が卒園後も地域で健やかに生活して行けるように、そのベースとなる心を育てる丁寧な支援を行う場がこの幼児グループであるとお伝えしました。

「遊びが繋がる夏休み」 デイサービスにじのこ給田 須藤 恵子

この夏にじのこ給田では、昨年9月の幼児クラス移転により単独の事業となったため、午前中の活動を設定しました。午前だけで12コマ、利用者延べ人数40名、一日平均3.3名の参加となりました。ゆったりとした時間の中で遊びの枠が広がり、普段はみられない姿を発見する機会にもなりました。

夏休みのはじめの頃は難しかったお弁当の包み方を、夏の終わりにはひとりですぐに結べた子もいました。ベランダのプールでは赤黄緑の食紅で色をつけた氷の感触を楽しんだり、色が混ざる様子を観察したり、ジュース屋さんごっこで乾杯をして遊んでいました。

特別プログラムとしてアート、コンサート、パン教室、切り絵、絵本の読み聞かせ、腹話術等を企画し、外部のボランティアや職員、現職員が工夫をこらして子どもたちに楽しい時間を提供してくれました。夏休み最後のイベントの藤田施設長のアートでは、箱をつかった造形遊びを楽しみました。テーマは「宝箱」それぞれが自分なりのイメージで心の中の宝物を表現していました。箱をあけると紙粘土でこしらえた色とりどりのおす

造ったタコで
タコ釣りの競争



紙粘土でおすしと
思いきや
おいしそうなおすし



手慣れた様子の
荒川さんのパン教室



しがたくさん！次の日の午前に参加した子供たちが出来上がった作品をみて「わたしもつくろく！」と言いだし、みんなでいろいろなおすしづくりが始まりました。そのあと残った箱で箱積み競争をすると、いかに一度にたくさん箱をゴールまで運べるか真剣に考えながら積んでいました。友達運びかたをみてグッドアイデアだと思って真似をする子や、一回目より二回目に運んだ箱の数が増えて喜ぶ子等、嬉しい場面がたくさんありました。その日の午後に参加した中学生や、普段はあまりアートに関心を示さない子も、ピンクや黄色のおすしに対抗意識を燃やしたようで、紙粘土でより精密なおすしやオリジナルの作品を夢中になってつくっていました。

異なる時間帯を超えて最初の遊びが形を変えて広がっていく様子を見て、こどもたちもっている豊かな創造力を感じることができました。今年の夏休みプログラムも事故もなく無事に終えることができました。ひとまわり成長したにじのこ子どもたちを、9月からまた「おかえりなさい！」でお待ちしています。

「灼熱の暑さの夏休み～お楽しみプログラム」

デイサービスにじのこ赤堤 小野 亮

今年の夏は、強烈な暑さが続き、東京の猛暑日の連続記録を8日と更新しました。猛暑日とは最高気温が35℃以上の日のことで、温度の測り方は風通しのよい場所、芝生の上1.5mの位置で電気式温度計を用いて観測しているそうです。遊具やマンホールなどの鉄製品では火傷をする危険があり注意してくださいと呼びかけがあるほどの熱さで、アスファルトの道路や、直射日光の中での体感温度は、どれくらいか恐ろしく測る気にもなりません。

さて、日差しが強く、焼けるように暑い天気の下でにじのこ赤堤はというと、事前に午前と他曜日の利用希望、キャンセルのアンケートを取り、都合がつかなくお断りすることもありましたが、受け入れ体制が整ったところで、アンケートを基に午前は12回開所しました。また、急きよお休みされ空気ができたところには、キャンセル待ちの方を優先に連絡を取り、子どもたちを迎えることができました。午前の利用は少人数なことが多く、職員を思う存分独占したり、ゆったりとした時間が流れていました。

いつもと違う顔ぶれの久しぶりに会う友達に、初めは照れくさそうにしていますが、職員が間に入りながら過ごすうちに、楽しく遊ぶことができていました。

夏休みのお楽しみプログラムとして毎年恒例となった職員によるお話し会、演奏会、パン教室。短編アニメーションや動物、電車の上映会。夏場だけしか楽しめない水あそびは、毎回大盛況に終わっています。

今回は特別に成人グループでエアロビを教えている先生をお招きして、活動を行うことができました。いつもと違うメリハリのあるエアロビは、子どもたちも曲に合わせて、張り切って体を動かし、暑さでだらけた体に刺激を入れたりしてリフレッシュしていました。

常勤職員は以前から幼児や給田の活動に参加していましたが、今回のお話し会では、給田との交流も兼ねて非常勤職員のトレードを行いました。職員からは緊張の声も上がっていましたが、いろいろなお子さんを知り、視野を広げることが

き、子どもたちの対応など改めて勉強できたいい機会です。初めてにじのこに来た時を思い出し、楽しかったと感想を頂きました。これからは研修も兼ねて非常勤さんも交流していく予定ですのでよろしく願います。

今回も、様々なプログラムを企画して無事終えることができました。子どもたちにとつて、素敵な夏休みの思い出となってくれば本望です。終わってしまったばあつという間の夏休みでしたが、大きな事故、怪我、熱中症などで倒れることもなく2学期を迎えることができました。これからも、にじのこで充実した時間、そして安心して過ごせる場所になるよう一人ひとりの気持ちに寄り添っていきたいと思います。夏休みのお楽しみプログラムはまた来年のお楽しみに！

川嶋先生によるエアロビ



上映会



水あそび

